様式第2号

農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー登録票（基本情報）

538　　令和8年6月10日現在

①	ふりがな 氏名	いとう　まさよし 伊藤　正義
④ 所属先	所属先名称	合同会社東北野生動物保護管理センター
	役職名	研究員
⑥ 専門分野 ※該当に✓を記入		☑ 捕獲手法　☑ 侵入防止技術　☑ 周辺環境整備　☑ 地域合意形成　☑ データに基づく計画立案 ☑ 野生動物管理（生息調査含む）　☑ ICT機器の活用（捕獲通知等）　☐ 処理（焼却・減容化） ☐ その他（　　）
⑦ 対象鳥獣 ※該当に✓を記入		☐ シカ　☑ イノシシ　☑ サル　☑ クマ（ツキノワグマ） ☐ ハクビシン　☐ アライグマ　☐ アナグマ ☐ カラス　☐ カモ　☐ ヒヨドリ　☐ スズメ　☐ ムクドリ ☐ その他鳥獣（　　）
⑧ 対応可能地域 ※該当に✓を記入		☐ 全国　☐ 北海道　☑ 東北　☐ 関東　☐ 北陸　☐ 東海 ☐ 近畿　☐ 中国　☐ 四国　☐ 九州　☐ 沖縄 ☐ その他※特定の都道府県、地域（
⑨ 免許、資格及び登録状況 ※該当に✓を記入		☑ 狩猟免許　（ 銃：取得年 H27年　、　わな： H27年 ） ☐ 鳥獣プロデータバンク　（☐ 鳥獣保護管理プランナー　☐ 鳥獣保護管理捕獲コーディネーター　☐ 鳥獣保護管理調査コーディネーター） ☐ 鳥獣管理士（　　）級 ☐ ジビエ利活用コーディネーター ☑ その他（ビオトープ管理士計画部門2級

農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー登録票（活動実績）

538　　令和8年6月10日現在

⑫活動実績	
活動期間	令和2年～令和5年
地域	福島県二本松市
対策の種類 ※該当に✓を記入	☑ 捕獲手法　☑ 侵入防止技術　☑ 周辺環境整備　☑ 地域合意形成　☐ データに基づく計画立案 ☐ 野生動物管理（生息調査含む）　☑ ICT機器の活用（捕獲通知等）　☐ 処理（焼却・減容化） ☐ その他（　　）
対象獣種 ※該当に✓を記入	☐ シカ　☑ イノシシ　☐ サル　☐ クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） ☐ ハクビシン　☐ アライグマ　☐ アナグマ ☐ カラス　☐ カモ　☐ ヒヨドリ　☐ スズメ　☐ ムクドリ ☐ その他鳥獣（　　）
活動の内容	市が選定した地区において、集落環境診断等により現状把握をし、イノシシ被害対策に関する研修会を開催した。また、ワイヤーメッシュ柵の設置及びそのルートを提案し合意形成した。共同で設置作業を行いながら、助言指導した。 さらに、同地区で活動している捕獲従事者に対して、ICT機器等を用いた捕獲を提案、試用していただいた。試用中には、ICT機器の使用方法等を助言指導した。

⑫活動実績	
活動期間	令和4年～令和7年
地域	福島県双葉町
対策の種類 ※該当に✓を記入	☑ 捕獲手法　☐ 侵入防止技術　☐ 周辺環境整備　☐ 地域合意形成　☑ データに基づく計画立案 ☑ 野生動物管理（生息調査含む）　☐ ICT機器の活用（捕獲通知等）　☐ 処理（焼却・減容化） ☐ その他（　　）
対象獣種 ※該当に✓を記入	☐ シカ　☐ イノシシ　☑ サル　☐ クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） ☐ ハクビシン　☐ アライグマ　☐ アナグマ ☐ カラス　☐ カモ　☐ ヒヨドリ　☐ スズメ　☐ ムクドリ ☐ その他鳥獣（　　）
活動の内容	町内に生息するニホンザルの群れを対象に、遊動域調査及び個体数調査を行った。箱罠を用いてニホンザルを捕獲し、発信機首輪（GPS及び電波）を装着した。調査結果を基に、町に対して被害対策や群れ管理の方針等を助言した。

様式第2号

農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー登録票（活動実績）

538　　令和8年6月10日現在

⑫活動実績	
活動期間	令和6年～令和7年
地域	山形県中山町
対策の種類 ※該当に✓を記入	☑ 捕獲手法　☑ 侵入防止技術　☑ 周辺環境整備　☐ 地域合意形成　☐ データに基づく計画立案 ☐ 野生動物管理（生息調査含む）　☐ ICT機器の活用（捕獲通知等）　☐ 処理（焼却・減容化） ☐ その他（　　）
対象獣種 ※該当に✓を記入	☐ シカ　☑ イノシシ　☐ サル　☑ クマ（ツキノワグマ） ☐ ハクビシン　☐ アライグマ　☐ アナグマ ☐ カラス　☐ カモ　☐ ヒヨドリ　☐ スズメ　☐ ムクドリ ☐ その他鳥獣（　　）
活動の内容	地域住民に対して、イノシシやクマを対象とした鳥獣被害対策について研修会を行った。侵入防止柵の設置については技術的な部分も説明した。　鳥獣被害対策実施隊に対して、イノシシやクマの生態、捕獲手法について座学による研修会を行った。また、実地でイノシシの捕獲について箱わな及びくくりわなの研修を行った。